

第52回 アレルギーに効く目薬

アレルギーの目薬というと、大多数の方がお世話になるのが花粉症の時期なのではないでしょうか。花粉症というと春先のスギ、ヒノキ花粉が有名で症状も強いのですが、秋にも花粉症はあります。秋の花粉症の原因植物はブタクサやイネ科、ヨモギなどの道端に生えている雑草です。これらの植物は、スギやヒノキほど遠くに花粉を飛ばさないため、雑草の生えていそうなところ（河原や畑など）を避けるだけで予防の効果があります。また、秋には夏に繁殖したダニが秋頃に死ぬため、その死骸がアレルギーを引き起こす場合もあります。

アレルギーを引き起こす物質は、そのものが鼻水を出したり、くしゃみを起こしたりするわけではありません。体に入ってきた、異物（花粉やダニの死骸など）が体の免疫反応を引き起こし、その異物を出そうとするために様々な症状を起こさせるわけです。鼻水は鼻に入った異物を出すためですし、くしゃみも気道に入った異物を出すための反応なのです。その反応を引き起こさせているのが、ヒスタミンという物質なのです。ヒスタミンはかゆみを引き起こす作用もあるため、花粉症の時には眼のかゆみが現れることもあり、症状の重い人では全身のかゆみを感じる人もいます。ヒスタミンは普通の時は肥満細胞などにしまわれており、異物が入ってくると格納されていたヒスタミンが放出されて、不快なアレルギー症状をもたらすわけです。

さて、アレルギーの原因物質はヒスタミンとわかっているわけですから、対処方法はいかにヒスタミンが起こす症状を抑えるかです。その方法には大きく分けて、2種類あり、ヒスタミンが症状を起こす作用を邪魔する方法と、そもそもヒスタミンを出さないようにする方法があります。初めの方法は、いわゆる抗ヒスタミン薬と言われるもので、CMなどでも名前を聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。2つ目は、ヒスタミンの格納場所に鍵をして出させないようにするイメージをもってもらうとわかりやすいと思います。

それでは当院に採用されているアレルギーに効く点眼薬を見ていきましょう。

リボスチン点眼：一般名のレボカバステチンより命名
これが、抗ヒスタミンの目薬です。

ゼペリン点眼：開発当初の有効成分名「ゼペノラスト水和物」から命名。承認された有効成分名は「アシタノザノラスト水和物」

リザベン点眼：由来なし

この2つがヒスタミンの格納場所に鍵をかける目薬です。

フルオロメトロン点眼：一般名より
これはステロイドと呼ばれる種類のくすりで、アレルギー症状・炎症を抑える力は上の2種類に比べて最強です。ひどい症状などの場合に使用されることがあります。
最後に、ヒスタミンは体にとって必要な物質です、花粉症の時期は悪者扱いされますが、普段は体を守っています。とはいってもひどい花粉症の人はヒスタミンなんかなくなってしまえという気持ちはわかりますが。

次回は下剤です。